

# 令和4年度第3回総合隣保館運営委員会次第

日 時 令和5年3月20日（月）  
午後7時00分～  
場 所 総合隣保館1階 大会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

令和4年度総合隣保館事業実施状況について  
令和4年度総合隣保館利用状況について  
令和4年度総合隣保館事業の成果と課題について

## 4 協議事項

- (1) 令和5年度総合隣保館運営方針（案）について
  
- (2) 令和5年度総合隣保館事業計画（案）について

## 5 その他

## 6 閉 会

## 令和4年度総合隣保館事業実施状況

### 1 総合隣保館運営委員会

回	開催日	審議内容	出席人数
1	4月15日	(1) 令和3年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和3年度総合隣保館利用状況について (3) 令和3年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和4年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和4年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	11人
2	7月22日	(1) 第39回総合隣保館文化祭について (2) 人権フォーラムについて (3) その他	12人
3	2月20日	(1) 令和4年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和4年度総合隣保館利用状況について (3) 令和4年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和5年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和5年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	11人

### 2 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

#### 相談事業の開催状況

区分	内容	人権相談の内訳(15件)
隣保館職員	・人権相談 15件 ・福祉相談 0件 ・教育相談 0件 ・職業相談 0件 ・生活相談 0件 ・その他相談 0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同和問題 件</li> <li>・女性 件</li> <li>・高齢者 件</li> <li>・子ども 件</li> <li>・外国人 件</li> <li>・生活 15件</li> <li>・障がい者 件</li> <li>・その他 件</li> </ul>
	小計 15件	
商工会議所派遣職員	・経営相談 43件 ・税務相談 57件 ・金融相談 4件 ・労働相談 0件 ・経理相談 11件 ・その他相談 0件	
	小計 115件	
計	130件	

### 3 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区（集会所）等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
革細工教室 (吉田)	革のスマホ入れづくり (11月23日(水))	1回	11人

#### 4 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

##### (1) 啓発活動事業

###### ア 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題解決のために必要な知識を得る研修の場として例年6月に3回実施した。

開催日	講師	参加人数
6月10日(金) 18:30~20:00 教育センター	「差別意識」とは何か、について考える 元関西学院大学講師 日野謙一さん	84人
6月17日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館	「パパは女子高生だった」~自分らしく生きること~ Like Myself 代表 前田 良さん	69人
6月24日(金) 18:30~20:00 教育センター	「全国水平社創立100周年の歴史的意義」 リバティおおさか大阪人権博物館長 朝治武さん	87人

###### イ 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が願いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

実施日	発表者	参加人数
10月18日(火) 18:30~ 総合隣保館	作文朗読「素直な心」 三木特別支援学校 PTA 井上絵梨子さん 「RASHとともに歩んだ10年」 ~免許のない私でも~ 総合隣保館運営委員 畑中麻実さん 「子どもの不登校から学んだもの」 ~親(自分自身)の成長~ 三木いきいき親の会 藤田隆子さん 「人権教育担当になって」	109人

	三木小学校校長 小紫達矢さん	
10月21日(金) 18:30～ 吉川町公民館	作文朗読「思いやりの心を大切に」 口吉川小学校6年 岸本愛望さん 「可能性を信じ挑戦！」 ～1年延期になったパラリンピックで学んだこと～ 日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員 小山貴子さん 「脳梗塞を発症して11年」～今、思うこと～ 兵庫県脳卒中者友の会「あけぼの会」会長 今枝睦宏さん	69人
10月25日(火) 18:30～ 総合隣保館	作文朗読「私のおじいちゃん」 三樹小学校6年 錦茉穂さん 「みんなちがって、みんなおなじ」 ～アフリカ・マラウイのくらしから～ 元青年海外協力隊 横田美空さん 『『ふつう』って何?』 人権擁護委員 中井靖子さん 「かかわり合って つながり合って」 総合隣保館運営委員長 小林伶子さん	99人
	計	277人

#### ウ 文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施する。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、市民活動センターで実施した。

##### ・記念講演

『母から娘へそして孫へ』～部落差別から考える～  
部落解放同盟鳥取県連合会女性副部長  
人権テイク・ルート代表 坂田かおりさん

#### エ 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として、実施した。

#### 視察研修会

開催日	行き先	出席人数
10月2日(土) 9:00～17:00	・たつの市立 総合隣保館ほか * 講話 テーマ「部落差別解消推進条例制定後のたつの市について」 * フィールドワーク * 革細工体験	9人

フィールドワーク

開催日	行き先	出席人数
2月25日(土) 8:00~17:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波木偶文化資料館 部落の伝承文化である「三番叟」を復活するに至った人々の思いに触れる。</li> <li>・阿波踊り会館、四国三大祭りのひとつである阿波踊りを体験し、400年以上受け継がれて来た庶民の心意気を体感する。</li> </ul>	38人

オ 図書の実用と利用

- (ア) 貸出冊数 66冊
- (イ) 貸出人数 34人
- (ウ) 購入冊数 18冊【課題図書】（一般 0冊、子ども 18冊）

(2) 広報活動事業

ア 隣保館だよりの発行

- (ア) 発行部数 毎月発行 4,600部
- (イ) 配付先 市内全自治会（回覧）、公共施設、各支部等

イ 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- (ア) 発行部数 1,000部（年1回）
- (イ) 配付先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。今年度新たにエアロビクス体験講座を開催した。

(1) 教養文化講座

	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸 サークル	18回	81人	(嶋田 千津子)	月2回
2	茶道教室	28回	72人	杉本 さわゑ	月3回
3	書を楽しむ らきら 書道教室	10回	116人	藤原 常貴	月1回
	計	56回	269人		

## (2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容・講師	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月28日(水) 17:30~19:30	テーマ「新春を生ける」 (講師)田中 真紀	11人
	2月24日(金) 19:00~21:00	テーマ「おひなさま」 (講師)田中 真紀	9人
計			20人

## (3) エアロビクス体験講座の実施

事業名	実施日	内容・講師	参加人数
エアロビクス体験	2月27日(月) 14:30~15:30	エアロビクスの体験 (講師)寺坂 恵美子	16人

## (4) 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

### ア 夏休み子ども教室

8月1月~5日(5日間)は、新型コロナウイルス感染者が増大したため中止した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	備考
夏休み子ども教室	5回	50人	8月22~26日

### イ 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	18回	161人	館職員	主に第2・4土曜日
交流ハイキング	1回	9人	館職員	3月27日(月)
計	19回	170人		

## (5) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人々が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、例年より規模を縮小した形で、総合隣保館及び市民活動センターで実施した。

開催日	実施内容	出席人数
12月4日(日) 13:00~15:30 市民活動センター	開会行事 舞台発表 RASH(ダンス) 杉の子学級 人権ペーパーサート(紙人形劇) テアトロ三木(人権劇) 記念講演 「母から娘へそして孫へ ~部落差別から考える~」 部落解放同盟鳥取県連合会女性部副部長 坂田 かおり さん	193人
11月30日(水)~ 12月4日(日) 9:00~21:00 (5日9:00~16:00) 総合隣保館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣保館関係団体による作品展示</li> <li>・人権クイズ</li> </ul>	170人

#### 6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、2月~3月に実施した。

#### 7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を作成中。

令和4年度 総合隣保館利用状況 (令和5年3月31日現在 見込み) 【回数(回)、人数(人)】

月	主催事業				志染保育所				その他				合計			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	8	72	6	56	8	400	10	160	22	327	19	28	38	799	35	244
5月	8	72			4	110			14	185			26	367		
6月	8	124	4	46	21	1,091	6	230	21	397	5	75	50	1,612	15	351
7月	5	60	9	62	19	428	15	750	21	446	22	436	45	934	46	1,248
8月	9	112	9	94	10	254	2	120	17	246	8	170	36	612	19	384
9月	8	75	1	5	21	1,425	8	390	26	396	6	59	55	1,896	15	454
10月	17	305	18	465	6	346	10	697	27	401	25	455	50	1,052	53	1,617
11月	15	167	13	135	16	636	14	1,060	28	450	32	564	59	1,253	59	1,759
12月	5	35	11	108	32	1,494	26	1,608	18	254	11	170	55	1,783	48	1,886
1月	8	70	9	80	26	630	4	240	16	241	19	274	50	941	32	594
2月	15	113	6	26	31	2,050	4	1,550	26	509	10	195	72	2,672	20	1,771
3月	12	111	5	37	18	770	19	790	17	410	13	295	47	1,291	37	1,122
合計	118	1,316	91	1,114	212	9,634	118	7,595	253	4,262	170	2,721	583	15,212	379	11,430

主催事業・・・相談事業、隣保館運営委員会、人権フォーラム、文化祭、教養文化講座等

その他・・・教育事業（研修会、企画運営委員会等）、人権教育指導員研修会、啓発資料作成委員会、貸館事業（各種会議、空手、ダンス等）



## 令和4年度総合隣保館事業の成果と課題

### 1 総合隣保館運営委員会

#### ○成果

会議で活発な意見交換を行うことができ、コロナ禍においてもほとんどの事業を中止することなく、工夫して展開することができた。

#### ●課題

少子高齢化が進む中、魅力ある隣保館づくりに取り組む上で引き続き運営委員会での活発な意見交換が欠かせないと考える。

### 2 相談事業

#### ○成果

相談者のニーズに応えることができ、「わかっていただけてありがたい。相談してよかった」等の言葉をいただいている。相談者は満足されている様子が伺えた。

#### ●課題

多様化する人権相談に対応するために相談員のスキルを高めることが必要。隣保事業士の研修を積極的に受けるとともに課内人権研修に力をいれて相談体制のさらなる充実を図る。館職員と来館者が交流を深め、困った時には、いつでも気軽に相談が出来るような雰囲気づくりを心がけることが重要である。

### 3 地域福祉事業

#### ○成果

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、一部事業を実施することができた。

#### ●課題

引き続き新型コロナウイルス感染対策を講じながら、地元と協議し、来年度に向けて事業をどう進めるかを検討する必要がある。

### 4 啓発広報活動事業

#### ○成果

コロナ禍にもかかわらず、人権フォーラムや総合隣保館文化祭等の催しに相応の参加者があった。参加者の密を避けるために、座席間を空けるなど工夫して開催することができた。

隣保館だより等の記事に反響があり、市民から感想が寄せられるなど啓発の効果があらわれている。

#### ●課題

引き続き、市民を巻き込みながら、同和教育セミナー、人権フォーラム、文化祭記念講演会等の学びの場の提供を積極的に行い、「人権尊重

のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化を図る必要がある。

## 5 教養文化及びその他に関する事業

### ○成果

地域住民のつながりを創出することができている。子ども教室は、さまざまな体験をとおして、交流による仲間づくりができた。今年度は「エアロビクス」の体験講座を開催した。好評であり来年度は定期開催を実施する予定である。

### ●課題

少子高齢化により、主催講座の講師高齢化及び参加者が減少傾向となっている。今後、さらに新たな講座の企画、人材の確保等、検討が必要である。

## 6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

### ○成果

本年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じ、高齢者世帯への訪問を行った。関係機関と連携を図りながら実施している。

### ●課題

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、今後も引き続き訪問活動を実施していきたい。

## 7 所蔵図書の整理について

### ○成果

隣保館の人権関係の図書は充実しているが、多くの来館者の希望に沿えるよう、毎年中央図書館より図書(一般書、絵本等)を借用し、閲覧、貸出できるようにしている。また、夏休みの課題図書を購入し貸出を行うので、子どもの利用促進にもつながっている。

館で所蔵している図書のデータベース化作業が完了している。

### ●課題

データベース化の完了に伴い、コンピューターでの本の検索や管理を行うシステムを試作している途中である。

## 8 まとめ

本年度は新型コロナウイルス感染症対策もあり、やむをえず飲食等の提供など一部事業の縮小等あったが、会場を分散する等、工夫しながら事業を実施することができた。

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に関する誹謗中傷や差別に対して、決して、同調や傍観するのではなく、許さないと、差別に立ち向かう正しい力を身につけるために、引き続き、市民を巻き込みながら、人権を守るために積極的な情報発信が重要である。

## 令和5年度総合隣保館運営方針（案）

総合隣保館の運営は、厚生労働省の隣保館設置運営要綱及び「部落差別の解消の推進に関する法律」「三木市人権尊重のまちづくり条例」「三木市人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査」及び総合隣保館活性化構想に基づき、以下の方針で事業を推進する。

- 1 我が国固有の人権問題である同和問題を基軸として、女性、高齢者、障がい者、子ども、外国人、LGBTQなどさまざまな人権問題に取り組み、人権や社会福祉制度に関する幅広い知識の習得や情報の収集・発信を積極的に行う。
- 2 「人権尊重のまちづくり」の視点から、地域における人権の課題、生活上の課題を解決するための取組を推進する。
- 3 あらゆる差別解消への展望に立った啓発に向けて隣保館運営委員会をはじめ各関係機関と連携して推進する。
- 4 「部落差別の解消の推進に関する法律」について
  - (1) 第4条（相談体制の充実）の趣旨を踏まえ、総合隣保館の主事業である相談事業を人権、福祉、保健、経営、職業等生活全般にわたり更なる充実を図る。
  - (2) 総合隣保館の設置の趣旨を踏まえて、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化・充実を図る。
- 5 社会調査研究については、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施し、実情を把握したうえで、関係機関と調整を図りながら、生活の改善を図る。
- 6 地域住民の参加に支えられた人権にかかわるコミュニティーセンターとして、地域活動を推進するとともに、地域住民の交流活動を促進する。
- 7 新型コロナウイルス感染に留意しながら、改良や工夫を加えて事業を推進するとともに、人権を守るために積極的な啓発及び周知を図る。

# 令和5年度総合隣保館事業計画

## 1 総合隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催する。

回	開催日	内 容
1	5月、6月	・令和4年度事業実施結果について ・令和5年度事業計画について
2	7、8月	・上期の事業実施状況について ・第40回総合隣保館文化祭について
3	3月	・令和5年度事業実施状況について ・令和6年度事業計画(案)について

## 2 相談事業

地域住民に対し生活上の相談に応じるとともに、適切な指導助言を行う。

相談名	相談日	時 間
人権相談	随時	8時30分～17時
経営相談	毎週火・金曜日	10時～16時
職業相談	随時	8時30分～17時
教育相談	〃	〃
生活相談	〃	〃
その他	〃	〃

## 3 地域福祉事業

地区住民の課題を把握し、地区住民の福祉の増進、生活の向上を図る取組を推進する。

## 4 啓発・広報活動事業

あらゆる人権問題の解決をとおして、お互いの人権を尊重し合える社会の実現に向けて以下の啓発・広報活動を実施する。

### (1) 啓発活動

#### ア 同和教育セミナー

6月 9日 (金) 18:30～20:00 教育センター

6月16日 (金) 18:30～20:00 吉川町公民館

6月23日 (金) 18:30～20:00 教育センター

講師 谷元 昭信さん 大阪市立大学非常勤講師 (6月9日予定)

橋田 好正さん

島田 恒夫さん 兵庫県人権啓発アドバイザー

## イ 人権フォーラム

人権問題の解決を自らの生き方に密着したものであるとの認識に立ち自主的に研修する市民の集いとして実施する。

### 意見発表

- 10月17日(火) 18:30~20:00 総合隣保館  
10月20日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館  
10月24日(火) 18:30~20:00 総合隣保館  
内 容 1回に3人~4人の発表

## ウ 文化祭記念講演会

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題を感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として、文化祭において実施する。

### 記念講演会

- 期 日 令和4年12月10日(日)  
講 師 未定

## エ 館外視察研修・フィールドワーク

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く機会として実施する。

### ① 館外視察研修(案)

- 期 日 令和5年9、10月予定  
場 所 国立療養所 長島愛生園

### ② フィールドワーク

- 期 日 令和6年2、3月中旬予定  
場 所 未定

## (2) 広報活動

### ① 隣保館だよりの発行

- 発行部数 毎月4,600部  
配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

## 5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図る。

### (1) 教養文化講座

NO	教室名	講 師	開催曜日	時間帯
1	手芸教室	嶋田千津子	毎月第2・4木曜日	13:30~
2	茶道教室	杉本さわゑ	毎月第1・3土曜日 毎月第4木曜日	9:00~ 13:00~
3	きらきら書道	藤原常貴	毎月第1土曜日	13:00~

※令和5年度より新たな講座を開設

4	エアロビクス	寺坂美恵子	未定	未定
---	--------	-------	----	----

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

フラワーアレンジメント教室（年2回予定）

期 日 令和5年12月、6年2月

場 所 総合隣保館

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施する。

① 夏休み子ども教室

夏休みの期間中、園児及び児童（小学生）を中心に、夏休み中の生活をリズムカルに楽しく、充実したものにする。

② 土曜子ども教室

ものづくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培う。

③ 子ども教室ハイキング

子ども教室に参加している子どもたちの仲間づくりを図る。

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催する。

開催にあたっては、運営委員会で内容を立案し、実行委員会で協議する。

期 日 令和5年12月9日（土）・10日（日）

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施する。

7 所蔵図書 of 整理について

館で所蔵している図書資料についてデータベース化し、検索を容易にする。現在、検索方法について試作品を研究している。